



S コマンド

この章では、S で始まる基本的な Cisco NX-OS システム コマンドについて説明します。

save

現在のコンフィギュレーション セッションをファイルに保存するには、**save** コマンドを使用します。

save location

構文の説明

<i>location</i>	ファイルの場所。保存場所には、 bootflash または volatile を指定できます。ファイル名は、最大 63 文字の英数字で指定できます。
-----------------	--

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

セッション コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1a)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、コンフィギュレーション セッションをブートフラッシュのファイルに保存する例を示します。

```
switch# configure session MySession
switch(config-s)# save bootflash:sessions/MySession
```

関連コマンド

コマンド	説明
configure session	コンフィギュレーション セッションを作成または修正します。
delete	指定位置からファイルを削除します。

send

アクティブなユーザセッションにメッセージを送信するには、**send** コマンドを使用します。

send [*session line*] *text*

構文の説明

session line	(任意) ユーザセッションを指定します。
<i>text</i>	テキスト文字列。このテキスト文字列は最大 80 文字の英数字で、大文字と小文字を区別します。

コマンドデフォルト

アクティブなすべてのユーザセッションにメッセージを送信します。

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

show users コマンドを使用すると、アクティブなユーザセッションに関する情報を表示できます。

例

次に、スイッチでアクティブなすべてのユーザセッションにメッセージを送信する例を示します。

```
switch# send The system will reload in 15 minutes!
The system will reload in 15 minutes!
```

次に、特定のユーザセッションにメッセージを送信する例を示します。

```
switch# send session pts/0 You must log off the switch.
```

関連コマンド

コマンド	説明
show users	スイッチでアクティブなユーザセッションを表示します。

session-limit

デバイスの同時仮想ターミナルセッションの最大数を設定するには、**session-limit** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

session-limit *sessions*

no session-limit *sessions*

構文の説明

<i>sessions</i>	セッションの最大数。有効な範囲は 1 ~ 64 です。
-----------------	-----------------------------

コマンド デフォルト

32 セッション。

コマンド モード

端末ライン コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、同時仮想ターミナルセッションの最大数を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# line vty
switch(config-line)# session-limit 48
```

次に、同時仮想ターミナルセッションのデフォルトの最大数に戻す例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# line vty
switch(config-line)# no session-limit 48
```

関連コマンド

コマンド	説明
line vty	仮想端末コンフィギュレーション モードを開始します。
show running-config	実行コンフィギュレーションを表示します。

setup

基本デバイス セットアップ ダイアログを開始するには、**setup** コマンドを使用します。

setup [ficon]

構文の説明	ficon	(任意) 基本 ficon セットアップ コマンド ファシリティを実行します。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド モード	EXEC モード	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	セットアップ スクリプトは、ユーザが設定した値ではなく、出荷時のデフォルト値を使用します。Ctrl+C を押すと、どの時点でもダイアログを終了できます。	
例	次に、基本デバイス セットアップ スクリプトを開始する例を示します。 switch# setup	
関連コマンド	コマンド	説明
	show running-config	実行コンフィギュレーションを表示します。

sleep

コマンドライン インターフェイス (CLI) が、プロンプトを表示する前に一時停止するよう設定するには、**sleep** コマンドを使用します。

sleep *seconds*

構文の説明

<i>seconds</i>	秒数。有効な範囲は 0 ~ 2147483647 です。
----------------	------------------------------

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドをコマンド スクリプトで使用すると、スクリプトの実行を遅らせることができます。

例

次に、プロンプトを表示する前に CLI を 5 秒間、一時停止させる例を示します。

```
switch# sleep 5
```

関連コマンド

コマンド	説明
run-script	コマンドスクリプトを実行します。

speed

コンソール ポートの送受信速度を設定するには、**speed** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

speed *speed*

no speed *speed*

構文の説明

<i>speed</i>	速度をビット/秒単位で指定します。有効な速度は 300、1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600 または 115200 です。
--------------	--

コマンド デフォルト

デフォルトのコンソール ポート速度は 9600 ビット/秒単位です。

コマンド モード

端末ライン コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

コンソール ポートは、コンソール ポート上のセッションだけから設定可能です。

例

次に、コンソール ポートの速度を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# line console
switch(config-console)# speed 57600
```

次に、コンソール ポートのデフォルトの速度に戻す例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# line console
switch(config-console)# no speed 57600
```

関連コマンド

コマンド	説明
line console	コンソール端末コンフィギュレーション モードを開始します。
show running-config	実行コンフィギュレーションを表示します。

stopbits

コンソールポートのストップビットを設定するには、**stopbits** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

stopbits {1 | 2}

no stopbits {1 | 2}

構文の説明		
	1	1 ストップ ビットを指定します。
	2	2 ストップ ビットを指定します。

コマンド デフォルト 1 ストップ ビット

コマンド モード 端末ライン コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン コンソールポートは、コンソールポート上のセッションだけから設定可能です。

例 次に、コンソールポートのストップビット数を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# line console
switch(config-console)# stopbits 2
```

次に、コンソールポートのストップビット数をデフォルト値に戻す例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# line console
switch(config-console)# no stopbits 2
```

関連コマンド	コマンド	説明
	line console	コンソール端末コンフィギュレーションモードを開始します。
	show running-config	実行コンフィギュレーションを表示します。

switchname

デバイスのホスト名を設定するには、**switchname** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

switchname name

no switchname

構文の説明

<i>name</i>	スイッチのホスト名。この名前は、最大 32 文字の長さの英数字で、大文字と小文字が区別され、特殊文字を含むことができます。
-------------	---

コマンド デフォルト

デフォルトのホスト名は「switch」です。

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

Cisco NX-OS ソフトウェアは、コマンドライン インターフェイス (CLI) プロンプト、およびデフォルトのコンフィギュレーション ファイル名でホスト名を使用します。

switchname コマンドは、**hostname** コマンドと同じ機能を実行します。

例

次に、Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチのホスト名を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# switchname Engineering2
Engineering2 (config)#
```

次に、デフォルトのホスト名に戻す例を示します。

```
Engineering2# configure terminal
Engineering2 (config)# no switchname
switch (config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
hostname	スイッチのホスト名を設定します。
show hostname	スイッチのホスト名を表示します。
show switchname	スイッチのホスト名を表示します。

system cores

システム コアの宛先を設定するには、**system cores** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

system cores tftp:ftp_URL [vrf management]

no system cores

構文の説明

tftp:	TFTP サーバを指定します。
<i>ftp_URL</i>	宛先のファイル システムおよびファイルの URL を指定します。次の形式を使用します。 <i>[/server[:port]][/path/]filename</i>
vrf management	(任意) 管理 Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティングおよび転送) を使用するよう指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、コア ファイルを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# system cores tftp://serverA:69/core_file
```

次に、システム コア ロギングをディセーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no system cores
```

関連コマンド

コマンド	説明
show system cores	コア ファイル名を表示します。

system startup-config unlock

スタートアップ コンフィギュレーション ファイルのロックを解除するには、**system startup-config unlock** コマンドを使用します。

```
system startup-config unlock process-id
```

構文の説明

<i>process-id</i>	スタートアップ コンフィギュレーション ファイルをロックしたプロセスの ID。
-------------------	---

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

スタートアップ コンフィギュレーション ファイルのロックを表示するには、**show system internal sysmgr startup-config locks** コマンドを使用します。

例

次に、スタートアップ コンフィギュレーション ファイルのロックを解除する例を示します。

```
switch# system startup-config unlock 10
```

関連コマンド

コマンド	説明
show startup-config	スタートアップ コンフィギュレーション 情報を表示します。

